



平成30年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年10月31日

上場会社名 マブチモーター株式会社

上場取引所 東

コード番号 6592 URL <https://www.mabuchi-motor.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大越 博雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 古今 敬之

TEL 047-710-1127

四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	108,888	0.1	16,144	12.4	19,508	1.6	19,901	32.6
29年12月期第3四半期	108,942	4.8	18,440	2.7	19,832	36.2	15,003	29.4

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 15,981百万円 (4.6%) 29年12月期第3四半期 16,758百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	296.08	295.95
29年12月期第3四半期	221.36	221.27

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	271,296	247,200	91.1
29年12月期	269,318	242,179	89.9

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 247,075百万円 29年12月期 242,049百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		54.00		66.00	120.00
30年12月期		55.00			
30年12月期(予想)				80.00	135.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 配当金の内訳

平成29年12月期特別配当 第2四半期末39円00銭 期末51円00銭

平成30年12月期(予想)特別配当 第2四半期末40円00銭 期末65円00銭

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	148,000	0.7	22,200	7.8	24,000	7.1	23,600	16.2	351.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期3Q	68,562,462 株	29年12月期	69,125,962 株
期末自己株式数	30年12月期3Q	1,440,164 株	29年12月期	1,513,962 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期3Q	67,214,972 株	29年12月期3Q	67,779,220 株

(注)平成30年12月期3Qの自己株式数には、役員報酬BIP信託の保有する当社株式数(期末自己株式数116,386株)を含めており、平成29年12月期の自己株式数には、従業員持株ESOP信託及び役員報酬BIP信託の保有する当社株式数(期末自己株式数63,800株及び116,386株)を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づいております。
また、業績は、今後の様々な要因により見通しと異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	P. 7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 7
(セグメント情報)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成30年1月1日～平成30年9月30日)における世界経済は、全体として順調に推移しました。米国経済は、雇用環境の継続的な改善を背景に個人消費が拡大し、底堅い成長を持続しました。欧州経済は、設備投資の拡大及び好調な個人消費を背景に順調に推移しました。我が国経済は、雇用環境の改善に伴う個人消費の拡大及び設備投資の増加により緩やかに拡大しました。新興国経済は、全体としては成長が継続したものの、中国経済の成長ペースに減速が見られました。

当社グループの関連市場におきましては、自動車電装機器市場は、欧州及び中国市場において減速が見られました。民生・業務機器市場は、安定的な需要が続きましたが、一部の用途で市場縮小が継続しました。

このような景況下、当社のモーター販売実績は、数量で前年同期比1.1%の増加、金額では前年同期比0.1%の減少となりました。また、8月に修正いたしました第3四半期連結累計期間の販売計画に対しては、数量で2.5%の減少、金額で1.0%の減少となりました。これらの結果、当第3四半期売上高は、1,088億8千8百万円(前年同期比0.1%減)となり、その大半を占めるモーター売上高は、1,088億4千5百万円(前年同期比0.1%減)となっております。

営業利益につきましては、販売数量は増加したものの、銅・鋼材などの市況品の上昇、為替レートが前年同期と比べて円高で推移したこと、ならびに販売費及び一般管理費の増加といった減益要因もあり、161億4千4百万円(前年同期比12.4%減)となりました。経常利益は、前年同期比で為替差益が増加し195億8百万円(前年同期比1.6%減)となりました。税金等調整前四半期純利益は、当社100%子会社であります萬寶至實業有限公司(香港マブチ)において、不動産の売却に伴う固定資産売却益が発生したことなどにより252億2千6百万円(前年同期比23.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は199億1百万円(前年同期比32.6%増)となりました。

次に、モーターの用途別市場動向と販売状況についてご説明いたします。

① 自動車電装機器市場

売上高は、792億9千6百万円(前年同期比2.0%増)と増加しました。重点強化事業であるパワーウィンドウ用は北米大手自動車メーカー向けに新製品が増加したものの、自動車メーカーでの一部立ち上げ遅れ等の影響により減少しました。一方、パーキングブレーキ等の中型電装用途は、全体として堅調に推移しました。小型電装用途では、ドアロック用はほぼ横ばいとなりましたが、ミラー、エアコンダンパー及びヘッドライト用等は堅調に推移しました。

② 民生・業務機器市場

売上高は、295億4千8百万円(前年同期比5.3%減)と減少しました。理美容関連が堅調に推移した一方で、インクジェットプリンター及びカーCDプレーヤー用における市場縮小が継続しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末に対して19億7千7百万円増加し、2,712億9千6百万円となりました。前連結会計年度末に対し変動の大きかった主なものは、たな卸資産の増加15億3千7百万円、設備投資に伴う有形固定資産の増加57億6千万円、配当及び自己株式取得による現金及び預金の減少51億4千5百万円、有価証券の減少9億4千8百万円、受取手形及び売掛金の減少7億1千2百万円などです。

負債合計は、前連結会計年度末に対して30億4千2百万円減少し、240億9千6百万円となりました。前連結会計年度末に対し変動の大きかった主なものは、支払手形及び買掛金の減少13億7千7百万円、未払法人税等の減少13億1千4百万円などです。

純資産合計は、前連結会計年度末に対して50億2千万円増加し、2,472億円となりました。利益剰余金が88億6千万円増加、為替換算調整勘定が33億3百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、引き続き緩やかな拡大が見込まれるものの、貿易摩擦への懸念等から不透明感が増しております。先進国においては、米国経済は、通商政策の動向に懸念があるものの、内需主導の成長により、引き続き堅調に推移するものと見込まれます。欧州経済は、英国のEU離脱交渉及びイタリア財政に対する懸念はあるものの、全体としては堅調に推移するものと見込まれます。我が国経済については、引き続き緩やかな成長が見込まれます。新興国経済全体としては緩やかな成長が予測されるものの、中国経済は不透明感が増しており、成長率が鈍化するものと見込まれます。

当社グループの関連市場におきましては、自動車電装機器市場は中期的には引き続き緩やかな成長を維持するものの、中国及び欧州市場においては一時的な減速が見込まれます。民生・業務機器市場では、家電機器、工具及び法人向け事務機器の需要が横ばいで推移するものの、個人向け事務機器需要は縮小すると予想しております。

このような状況から、年間の連結業績予想については、売上高1,480億円(前期比0.7%増)、営業利益222億円(前期比7.8%減)、経常利益240億円(前期比7.1%減)、親会社株主に帰属する当期純利益236億円(前期比

16.2%増)と予想しており、直近(平成30年8月10日)に公表いたしました業績予想から変更は行っておりません。

(注)上記の業績予想に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいております。業績は、今後の様々な要因により見通しと異なることがあります。その要因のうち、主なものは以下のとおりであります。

- ・ 為替相場の変動
- ・ 当社の事業領域を取り巻く経済環境・需要動向等の変化
- ・ 新技術・新製品等の急速な技術革新
- ・ 銅・鋼材・レアアース等の相場の変動

ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	117,963	112,817
受取手形及び売掛金	27,079	26,366
有価証券	2,948	2,000
商品及び製品	22,177	23,320
仕掛品	1,608	1,345
原材料及び貯蔵品	9,221	9,879
繰延税金資産	1,706	1,537
その他	4,456	4,940
貸倒引当金	△148	△108
流動資産合計	187,012	182,099
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	45,955	46,971
減価償却累計額	△27,133	△27,220
建物及び構築物 (純額)	18,821	19,750
機械装置及び運搬具	55,327	58,501
減価償却累計額	△27,533	△29,398
機械装置及び運搬具 (純額)	27,793	29,102
工具、器具及び備品	17,635	18,023
減価償却累計額	△13,231	△13,827
工具、器具及び備品 (純額)	4,404	4,196
土地	6,661	6,672
建設仮勘定	10,628	14,348
有形固定資産合計	68,310	74,071
無形固定資産	1,024	1,166
投資その他の資産		
投資有価証券	11,411	11,533
長期貸付金	—	464
繰延税金資産	424	460
その他	1,235	1,534
貸倒引当金	△101	△33
投資その他の資産合計	12,970	13,958
固定資産合計	82,305	89,196
資産合計	269,318	271,296

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,856	6,478
短期借入金	56	—
未払法人税等	2,854	1,540
賞与引当金	259	804
役員賞与引当金	143	122
繰延税金負債	80	39
その他	9,547	8,963
流動負債合計	20,798	17,949
固定負債		
株式等給付引当金	130	180
退職給付に係る負債	2,532	2,514
資産除去債務	16	16
繰延税金負債	3,353	3,187
その他	306	247
固定負債合計	6,340	6,147
負債合計	27,138	24,096
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,704	20,704
資本剰余金	20,419	20,419
利益剰余金	200,713	209,573
自己株式	△7,486	△7,400
株主資本合計	234,351	243,297
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,546	3,828
繰延ヘッジ損益	△87	△90
為替換算調整勘定	4,443	1,139
退職給付に係る調整累計額	△1,203	△1,099
その他の包括利益累計額合計	7,698	3,778
新株予約権	130	124
純資産合計	242,179	247,200
負債純資産合計	269,318	271,296

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	108,942	108,888
売上原価	73,729	75,320
売上総利益	35,213	33,567
販売費及び一般管理費	16,773	17,423
営業利益	18,440	16,144
営業外収益		
受取利息	271	401
受取配当金	131	163
為替差益	322	1,669
スクラップ材料売却収入	760	1,123
その他	252	266
営業外収益合計	1,738	3,624
営業外費用		
株式関係費	45	47
控除対象外消費税等	71	39
その他	227	173
営業外費用合計	345	260
経常利益	19,832	19,508
特別利益		
固定資産処分益	692	6,041
ゴルフ会員権売却益	—	2
特別利益合計	692	6,043
特別損失		
固定資産処分損	152	182
臨時退職金	—	143
特別損失合計	152	325
税金等調整前四半期純利益	20,373	25,226
法人税等	5,369	5,325
四半期純利益	15,003	19,901
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,003	19,901

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	15,003	19,901
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	875	△718
繰延ヘッジ損益	406	△2
為替換算調整勘定	363	△3,303
退職給付に係る調整額	108	104
その他の包括利益合計	1,754	△3,920
四半期包括利益	16,758	15,981
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,758	15,981
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得及び消却)

当社は、平成30年2月14日開催の取締役会決議において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議するとともに、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議いたしました。これにより当第3四半期連結累計期間において、次のとおり自己株式の取得及び消却を実施いたしました。

1. 自己株式の取得

(1) 取得対象株式の種類

当社普通株式

(2) 取得した株式の総数

563,500株

(3) 株式の取得価額の総額

2,999百万円

(4) 取得期間

平成30年2月16日から平成30年3月20日まで

(5) 取得方法

投資一任方式による市場買付

2. 自己株式の消却

(1) 消却する株式の種類

当社普通株式

(2) 消却した株式の数

563,500株

(3) 消却した株式の総額

2,872百万円

(4) 消却実施日

平成30年4月16日

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、マブチモータータイヤンド株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,103	59,593	13,917	26,328	108,942	—	108,942
セグメント間の内部 売上高又は振替高	68,224	58,217	15	—	126,458	△126,458	—
計	77,328	117,811	13,932	26,328	235,401	△126,458	108,942
セグメント利益又は損失 (△)	8,165	9,968	△292	895	18,738	△298	18,440

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△298百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,309	57,342	15,540	26,695	108,888	—	108,888
セグメント間の内部 売上高又は振替高	66,692	59,466	180	60	126,400	△126,400	—
計	76,001	116,809	15,721	26,755	235,288	△126,400	108,888
セグメント利益又は損失 (△)	4,888	10,396	△655	1,111	15,740	403	16,144

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額403百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。